

日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」代表者会議（第2回）

日時：令和2年6月17日（水）10時～11時

参加者：教員等協議会：飯本（理事）

若手研：迫田（理事）、廣田（参与）、三輪、山田、嶋田、片岡、辻、廣内

学友会：小池、福田

概要：

1. 議題・論点

- (1) 学友会と若手研の交流、関係について
- (2) 新規会員の獲得のための仕掛け

2. 学友会と若手研の交流

- 一緒に何かを実施することは続けていきたい。
- 学友会、若手研間の情報交換は両者ともにメリットがある。
- 二つ存在する意義はあるのか？
 - 学友会が存在することは、理事会への意見、企画作成などの社会経験等でメリットはあるが、現状の学生数が少ない。
 - 学生だけの勉強会には意義がある。
 - 学友会は入れ替わりが激しく、引っ張る人がいないと存続が難しい。
 - いずれにせよ、学友会も若手研も「存続させるためと思う」、「事務作業が負担」となってはならず、「やって楽しい」、「メリットがあると思う」ようにすべき。
 - 学友会と若手研が統合した場合でも、学生が見える形になるような工夫したほうが良い。例えば、役割を若手と学生で分担するなど。
 - 学友会と若手研が二つ存在する場合でも、予算の融通が利く方が良い（若手研の予算を学友会が使えるように）
- ラフに参加できる場があれば良い。
 - 合宿や勉強会。地球化学会では他学会からの参加も可能としている。
 - 学友会と若手研の壁をなくすように工夫。

3. 新規会員の獲得のための仕掛け

- 放射線取扱主任者試験に関するイベントの開催。
- 研究発表会と合わせた合宿の開催（特に合同学会の時に合わせた合宿は他学会の勧誘にもなる）。
- 海外の方とコネクション。
- 学会アフターフォローセミナー。
- 研究発表会に参加しているが、若手研、学友会に参加していない人は、何を求めて

いるかのニーズ調査（メリット調査）。

- 勉強会等でまずはゲストとして呼び込みを行うことも重要。

4. その他

- 千葉科学フェスタ：コロナ対策をしつつ、成果を発信することができればよい。
 - 成果発信の方法（SNS 等の利用）を考える
- 福島事故後 10 年なので、何か企画をできればよい。
- プロジェクトの進行が分かるように、（オンラインで）チャットワークなどの利用。
 - 各キーワードでどこまで進んだかが分かるようにできればよい。

5. 次回までの課題

若手研と学友会がリンクし、何をやりたいか、何ができそうかをまとめておく。

以上